

■各都道府県関連拉致被害者及び特定失踪者数

調査会では政府認定拉致被害者を含む特定失踪者の各都道府県別の人数をまとめました。

これは各地のマスコミ、関連組織、自治体などの活動や広報で活用していただくためのものです。また衆議院総選挙を目前に控え、国会議員や候補者に対して、地元で特定失踪者や家族が何人いるかを認識してもらいたいという意味も含め、一覧にまとめました。

これまで調査会に地方のマスコミ、救う会、自治体などから「〇〇県関連の特定失踪者数を教えてほしい」といったような問い合わせがしばしばありました。これに対してはその都度応えてきましたが、決して十分なものではありませんでした。

そのため今回、「失踪場所」「失踪当時の居住地」「家族の居住地」について各県ごとにデータをまとめ、さらに出身地や以前の居住地、勤務・通学地などの関連も含めた各都道府県ごとの関連失踪者数（「総数」）をまとめました。

ただし一口に「〇〇県関連」といっても、「失踪場所」「失踪時の居住地」「勤務先や学校がその県だった」「失踪者の家族が居住している」など、いろいろな分け方があります。「失踪場所」についても見方によっては様々な認識の差がでてしまいます（そもそもいつ、どこでいなくなったか分からないのが失踪なのですから）。したがって今回のデータも決して明確に区切りができてはおりません。また人によってはいくつもの県に重複している方もいるため、合計して数が合うというわけでは決してありません。

調査会でもすべてのデータを把握しきれてはおりませんので、今後も修正は出ると思いますが、できるだけ適切な数を出し、各方面の活動にお役立ていただければと思います。なお、個別の氏名（公開者のみ）についてのお問い合わせは常務理事杉野までお願いします。

以下、件名の右の数字は次の淳便で並んでいます。 総数（うち公開者数）
失踪場所が県内の人の数（うち公開者数） 当時の居住地が県内の人の数
（うち公開者数） 家族代表者の居住地県内（うち公開者数）

北海道	63	(42)	45	(28)	38	(24)	42	(31)
青森県	13	(8)	6	(5)	6	(3)	3	(2)
岩手県	6	(3)	3	(1)	2	(1)	6	(3)
宮城県	7	(4)	1	0	2	(1)	1	(1)
秋田県	6	(3)	5	(4)	4	(4)	5	(5)
山形県	9	(4)	6	(1)	5	0	6	(2)
福島県	4	(3)	2	(1)	3	(2)	1	(1)
茨城県	10	(8)	5	(3)	5	(3)	8	(6)
栃木県	5	(3)	2	(1)	3	(1)	5	(3)
群馬県	5	(3)	3	(2)	2	(2)	4	(3)
埼玉県	31	(20)	11	(9)	21	(15)	22	(14)

千葉県	41	(25)	18	(12)	21	(13)	26	(15)
東京都	120	(80)	67	(38)	73	(46)	42	(25)
神奈川県	39	(27)	18	(13)	21	(15)	13	(8)
新潟県	23	(17)	20	(11)	15	(8)	6	(4)
富山県	9	(6)	7	(6)	5	(4)	5	(4)
石川県	17	(13)	13	(10)	9	(7)	6	(3)
福井県	14	(12)	14	(12)	9	(7)	3	(3)
山梨県	6	(4)	5	(3)	4	(2)	3	(2)
長野県	12	(7)	7	(5)	5	(4)	7	(4)
岐阜県	10	(5)	3	0	3	(1)	5	(2)
静岡県	16	(10)	5	(3)	3	(2)	11	(7)
愛知県	17	(12)	13	(8)	13	(8)	9	(8)
三重県	13	(9)	5	(2)	8	(4)	7	(5)
滋賀県	5	(3)	1	(1)	1	(1)	3	(1)
京都府	37	(21)	18	(13)	17	(11)	11	(8)
大阪府	68	(40)	41	(23)	44	(23)	31	(19)
兵庫県	33	(20)	15	(9)	22	(15)	19	(14)
奈良県	4	(3)	0	0	0	0	2	(1)
和歌山県	6	(1)	3	(1)	2	(1)	1	(1)
鳥取県	10	(5)	8	(4)	4	(3)	7	(4)
島根県	10	(6)	1	(1)	2	(2)	7	(3)
岡山県	6	(4)	3	(2)	4	(2)	4	(3)
広島県	21	(13)	11	(6)	12	(7)	7	(4)
山口県	13	(8)	7	(5)	7	(5)	9	(5)
徳島県	12	(9)	4	(3)	2	(1)	6	(5)
香川県	8	(6)	1	(1)	3	(3)	3	(2)
愛媛県	6	(4)	2	(1)	2	(1)	5	(3)
高知県	4	(3)	2	(1)	1	(1)	1	(1)
福岡県	23	(16)	10	(4)	11	(5)	9	(4)
佐賀県	1	0	0	0	0	0	0	0
長崎県	10	(8)	5	(2)	4	(2)	5	(4)
熊本県	8	(7)	1	(1)	1	(1)	4	(3)
大分県	9	(7)	3	(2)	2	(1)	3	(2)
宮崎県	11	(9)	7	(7)	4	(4)	4	(4)
鹿児島県	16	(13)	8	(7)	9	(7)	11	(9)
沖縄県	22	(14)	13	(7)	11	(6)	16	(11)
海外	21	(16)	10	(6)	5	(4)	0	0
海上	23	(16)	48	(14)	—	—	—	—

() 内は公開者数

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★6月14日 16:00「講演会」（誇りある日本をつくる会 多摩地区総本部・生島孝子を救う会主催）
会場：東村山市市民スポーツセンター2階大会議室（東村山市久米川町3-30-5 TEL:042-393-9222 西武線「東村山駅」下車、徒歩15分）
●代表荒木が参加

★6月28日（日）14:00「定期総会記念講演会」（日本会議神奈川・相模原支部主催）
●杜のホールはしもと（横浜線・京王相模原線橋本駅前 Tel 042-775-3811）
●代表荒木が参加
●問い合わせ：奈良支部長（042-757-2002）

★7月5日（日）13:00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）
●ロックシティ守谷・センターコート（筑波エクスプレス・関東鉄道守谷駅下車徒歩7分）
●代表荒木が参加
●問い合わせ：救う会いばらき（090-1212-8084）

★7月11日（土）14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催）
●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）
●理事三宅が参加
●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は sukukaikanagawa@hotmail.com

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）
●横浜情報文化センター 情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）
●副代表真鍋が参加
●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は sukukaikanagawa@hotmail.com

[調査会NEWS 781] (21.5.25)
本日の記者会見で以下の文書を発表しました。

■河嶋功一さんに関する報道について

副代表 真鍋貞樹

本日発売の「週刊現代」に、特定失踪者の河嶋功一さんに関する重要な情報が掲載された。その内容は、「本年4月5日に北朝鮮がミサイルを発射した際、金正日とミサイル開発技術者が撮った記念写真の中に、河嶋功一さんによく似た人物が写っている」というものである。

この情報については、複数の筋から特定失踪者問題調査会に寄せられてい

たが、調査会としてはその信憑性を検証する確たる術がないため、ご家族や関係者にその旨を伝えていたところである。

この報道のような情報が正しいとするならば、その意味は以下のような点が考えられる。

1. 拉致された日本人などが、ミサイルなどの技術開発に利用されている可能性があること。
2. あえて北朝鮮が日本政府未認定の拉致被害者などの写真を出すことは、拉致問題の進展に向けて、何らかのメッセージを日本側に送っている可能性があること。

これらの見方が正しいか否かは、この写真が河嶋功一さんであることが間違いないとなった時に判明するものである。したがって、日本政府においては、政府の責任の上で、この情報の信憑性の確認について鋭意努力されたい。そして、河嶋功一さんであることが間違いないとすれば、すみやかに救出に向けて全力で取り組むよう求めるものである。

■北朝鮮の核実験について

代表 荒木和博

本日午前、北朝鮮が核実験を行ったことが伝えられた。

去る4月5日のミサイル発射実験以来、核実験を行うのは予想されたことだったが、予想より早く、また唐突に行われたのは北朝鮮の内部にかなりの混乱があることを示唆するものではないかと思われる。金正日のリーダーシップの低下が内部の流動化を招き、その流れに抗するために核実験に踏み切った可能性もある。

ちょうど本日、特定失踪者河嶋功一さんに関する報道がなされたが、この情報では河嶋さんはミサイル開発に携わる部署にしていることになっている。情報の真偽はまだ定かではないが、日本からの技術が北朝鮮の核・ミサイル技術を含めた軍事力の増強に寄与していることは前から言われてきたことであり、他の特定失踪者でもそのために拉致されたのではないかと思われる人が何人かいる。

日本政府は「事実関係の確認」などにとどまるのではなく、日本からこのような技術がどう北朝鮮に流れているのか、そこに拉致事件がどう関わっているのかについて早急に調査及び捜査を行い、事実を国民に明らかにすべきである。また、米国の核の傘に依存している現在、北朝鮮の核開発を封じるために核保有国に倍する具体的努力をすることは当然である。心ある報道関係者及び国民各位にもその点をご理解いただき、政府を叱咤激励されるよう望みたい。

■しおかぜ近況報告

担当理事 村尾建兒

(周波数公開)

「しおかぜ」は、北朝鮮による妨害電波対策、複数周波数を使った「猫の

目作戦」を行っています。その効果は各地から送られてくる受信報告でも十分に発揮されている事は確認できていますが、このところ北朝鮮側の妨害対応の早さが目立つようになった事や、伝播状態を左右する電離層の状態が夏期に向けて非常に改善され、ここ一ヶ月ほどソウルを始めとする北朝鮮近隣地域、国内からの受信報告など、受信状態は妨害電波を押さええてかなり安定して来ていることから、これまで非公開で行って来た周波数を公開して放送する事にいたします。現在の放送周波数は、朝5：30～6：00までは、5965kHzまたは6045kHz、夜11：00～11：30までは、5910kHzまたは6120kHz朝夜ともに、いずれかの周波数で放送を行っています。今後番組の中でも周波数のアナウンスは行いますが、現在も北朝鮮より妨害電波は発信し続けられており、それを出来るだけ回避するため複数の周波数をランダムで放送しますので、はっきりとした放送、周波数のスケジュールは発表いたしません。

北朝鮮内でのラジオの聴き方は、周波数に関係なく受信できる放送を聴いているという情報が多くあります。そのことから周波数告知はあまり重要とは考えておりませんが、近隣地域での受信状態の良好な状況から判断して、より多くの情報を提供することで、少しでも「しおかぜ」が聴取できる機会につながり、より広がってくれればと考える次第です。

（「知事の会」との連携）

本年1月の平井鳥取県知事、泉田新潟県知事が収録を行って以来、複数の自治体より「しおかぜ」でのメッセージ収録の問い合わせをいただいております。先日も関西地域の自治体との日程調整の依頼があり対応しておりましたが、知事の皆様は大変多忙の中での調整となり、スケジュール調整が難しいのも現実です。現在別の関西圏の自治体より、日程調整の準備をしておりますが、私たち「しおかぜ」は知事の会に参加されているすべての知事の皆様にご出演願ひ、拉致問題解決の意識を地方から、そして地元から発信していただきたいと考えております。全国にはたくさんの拉致被害者、特定失踪者、そしてそのご家族がおられます。都道府県にとどまらず、市区町村に至まで、多くの参加を期待しております。収録日程などが決まりましたら、マスコミの皆様には公開で収録を行いたいとも考えている次第です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

特定失踪者「生島孝子」さんの姉、生島馨子さんにも失踪当時のお話や今に至るまでの経緯をお話して頂きます

★6月14日 16：00「講演会」（誇りある日本をつくる会 多摩地区総本部・生島孝子を救う会主催）

会場：東村山市市民スポーツセンター2階大会議室（東村山市久米川町3-30-5 TEL:042-393-9222 西武線「東村山駅」下車、徒歩15分）

●代表荒木が参加

★6月28日（日）14:00「定期総会記念講演会」（日本会議神奈川・相模原支部主催）

●杜のホールはしもと（横浜線・京王相模原線橋本駅前 Tel 042-775-3811）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：奈良支部長（042-757-2002）

- ★7月5日（日） 13：00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）
- ロックシティ守谷・センターコート（筑波エクスプレス・関東鉄道守谷駅下車徒歩7分）
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：救う会いばらき（090-1212-8084）

- ★7月11日（土）14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催）
- 藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）
- 理事三宅が参加
- 問い合わせ：救う会神奈川 090（9816）2187 又は sukukaikanagawa@hotmail.com

- ★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）
- 横浜情報文化センター 情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）
- 副代表真鍋が参加
- 問い合わせ：救う会神奈川 090（9816）2187 又は sukukaikanagawa@hotmail.com

[調査会NEWS 780] (21. 5. 22)

■山梨県警宛質問状の内容

前号のニュースでお知らせした質問状ですが、本日午後、以下の内容のものを山梨県警に提出します。回答は6月4日木曜、10：00に受け取り13：00より甲府ホテルにて記者会見を行う予定です。

平成21年5月22日
山梨県警本部本部長 殿

山本美保の家族
特定失踪者問題調査会
山本美保さんの家族を支援する会

平成16年3月5日の山梨県警からの発表に対する質問について

時下、益々ご清祥の事とお喜び申し上げます。

さて、すでにご案内の通り県警では昭和59年6月21日に山形で発見された漂着遺体の骨髄をDNA鑑定した結果、山本美保さんであると断定したと平成16年3月5日に発表されました。

しかしその発表の直後から数々の疑問点が浮上し、このDNA鑑定自体に疑義が呈されています。

私たちはそれに対する回答を求めて参りましたが、納得を得られるものは一切ありません。そこで再度、別紙添付の質問事項について回答いただきたく願います次第です。

本件は人命及び人権に関わる重大な問題であり、回答がいただけない場合、ないし回答に納得がいかない場合は国会、あるいは報道機関などを通じて真相を明らかにしていく所存です。

山本美保さんが失踪してから今年の6月4日で25年が経ってしまいます。四半世紀もの間、行方の真相が分からず、それどころか、美保さんとの相違が著しいご遺体を美保さんであるという不可解な断定をされ、家族の心情は察するに余るところであります。

この25年を迎える6月4日の節目に、明確な回答を頂きたいと思えます。

ご多忙な中誠に恐縮ですが平成21年6月4日午前10時までに文書にて回答賜りますようお願い申し上げます。

以上

質 問 事 項

1・遺留品に関して

- 1、 (1)平成15年11月7日・美保さんの双子の妹。
(2)平成16年1月27日・美保さんの母親と双子の妹。

上記の2日、山形のご遺体の遺留品の写真を確認しています。

この際、ネックレス、ブラジャー、キャミソールに関して「美保の物ではない。」とはっきり断言しています。この時示されたGパンの写真は前身頃腰周りの写真であり、極普通の一般的なGパンにしか見えなかったため、Gパンに関しては「何とも言えない。」と答えています。

平成16年3月の県警からの発表後、資料の開示を求め平成16年4月7日に山形のご遺体の資料を閲覧した際、Gパンの詳細な写真が提示されました。その写真では、とても特徴のあるデザインのGパンであり、美保さんの物とは全く違うものでした。又、この時になってショーツ、ガードルについても写真を提示され確認しましたが、いずれも美保さんの物ではありませんでした。

2、平成16年4月7日の資料閲覧の際、初めて山形のご遺体の遺留品のサイズを知ったのですが、そのサイズは、美保さんのサイズよりかなり小さいものでした。例えば、ブラジャーに至っては、遺留品はA70ですが、美保さんはB75、またはB80のものを使用していました。

質問? 以上のように遺留品に関して、全てデザインもサイズも違っています。このことについてはどう考えておられるのでしょうか。また平成16年8月に県警に再質問ということで伺った際、「下着もGパンもサイズがかなり小さいが、その件についてはどう説明するのですか?」との質問に「有り得る。」としか回答されていない。「有り得る。」では全く納得のいく回答にはなりません。納得のいく答えを求めます。

2・身体的特徴に関して

山形のご遺体の資料に「頭頂部より臀部下端・95cm」と記載されています。法医学の専門家に聞くと、それは座高を示すとの事です。美保さんの高校3年生の身体測定の記録によると、座高は87.4cmです。又、ご遺体の身長は「160～170cm」、高校3年生の美保さんの身長は159.5cmであります。

質問? 座高の差が7.6cmもあり、又、身長の誤差も大きいのですが何故なのでしょう。

3・ご遺体の状況に関して＝

山形のご遺体が美保さんと言われるなら、発見された遺体は死後13日～17日の遺体となります。資料によると「ご遺体は屍蠟化、一部白骨化」「ご遺体の歯は13本抜け落ちている」「死後3週間から3ヶ月」と記載されています。

質問? 法医学の専門家の話では水中だとしても屍蠟化・白骨化は13日～17日ではしないとの事です。屍蠟化に関しては「死後1ヶ月から始まり、3ヶ月掛かって全身に及び半年後に完成する。」と言われていています。歯根膜が腐り歯が抜け落ちるのには、3ヶ月から1年は掛かるとの事です。推定される死後の経過期間にかなりの誤差が生じていますが、この誤差は何故なのでしょう。

4・科警研での鑑定について

平成16年3月17日に県警から頂いた回答書によりますと、平成15年5月、科学警察研究所に鑑定を依頼し、6月に「美保さんの可能性はあるが断定は出来ない。」と鑑定結果が出たとの事でした。7月22日、家族にその事を伝えたと書いてあります。

質問? 家族は鑑定結果どころか鑑定をされている事すら聞かされていません。しかも、鑑定結果を元厚生年金会館の駐車場にて立ち話で、妹の美砂に伝えたと言われてはいますが、鑑定結果を正式な書類を見せずに口頭・立ち話で済ませるものなのでしょう。

5・DNA鑑定結果の書類（鑑定書）について

家族が鑑定書、又そのコピーを求めましたが、「プライバシーの問題なので渡せない。」と言われてました。

質問? 県警の発表によれば、美保さんは死亡していると断定しているのですから、家族に渡すべきではないのでしょうか。何故、鑑定書を家族に渡せないのですか。

6・総合的に考えて

遺留品のデザインも違いサイズも違う、ましてや家族は見た事のない遺留品ばかりだと断言しています。身体的特徴も違い、死後経過のズレもかなり

あります。山形のご遺体と美保さんを同一人物と考えるのには無理が生じます。しかしながらDNA鑑定は一致しています。法医学の専門家によると、「DNAが一致したのであれば他の物も一致して当然である。DNA鑑定は個人を識別する一つ的手段に過ぎない。他のものが一致しないのであれば、DNA鑑定を疑うべきである。」との見解です。しかも、一卵性双生児のDNAは全く同じであるから、疑われる鑑定はしないとの意味で、母親が健在ならば普通は母親との親子鑑定をするべきとの専門家の見解であります。

質問? 疑いをもたれた場合を考え、DNA鑑定の再鑑定が出来るだけの試料を残さなければならないというのが、鑑定医の義務であると多くのDNA鑑定の著書にも書いてあります。しかしながら、この山形のご遺体の試料は使いきってしまい、残っていないとされています。このような場合、DNA鑑定は無効になるとの見解がありますが、「再鑑定の保証」についてはどのように考えておられるのか。又、何故、母親ではなく双子の美砂の血液を採取したのでしょうか。

連絡先
山梨県甲府市右左口441-1
055-266-3252

特定失踪者問題調査会理事 山下 滋夫

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★6月28日（日）14:00「定期総会記念講演会」（日本会議神奈川・相模原支部主催）

●杜のホールはしもと（横浜線・京王相模原線橋本駅前 Tel 042-775-3811）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：奈良支部長（042-757-2002）

★7月5日（日）13:00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）

●ロックシティ守谷・センターコート（筑波エクスプレス・関東鉄道守谷駅下車徒歩7分）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会いばらき（090-1212-8084）

★7月11日（土）14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●理事三宅が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は sukukaikanagawa@hotmail.com

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター 情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は

sukukaikanagawa@hotmail.com

[調査会NEWS 779] (21. 5. 21)

■山梨県警に質問状

「DNAデータ偽造疑惑事件」に関わる平成16年3月5日の山梨県警発表に関し、山本美保さんのご家族、地元の「山本美保さんの家族を支援する会」、特定失踪者問題調査会では明日22日山梨県警に質問状を提出します。質問状はこれまで解けずにきた疑問を再度確認するもので、回答は美保さん失踪からちょうど四半世紀目にあたる6月4日に受け取る予定です。足利事件の冤罪がDNA再鑑定によって明らかになったこともあり、これまでのDNA鑑定に関わる不可解な対応を県警がどう説明するのか注目されます。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★6月28日（日）14:00「定期総会記念講演会」（日本会議神奈川・相模原支部主催）

●社のホールはしもと（横浜線・京王相模原線橋本駅前 Tel 042-775-3811）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：奈良支部長（042-757-2002）

★7月5日（日）13:00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）

●ロックシティ守谷・センターコート（筑波エクスプレス・関東鉄道守谷駅下車徒歩7分）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会いばらき（090-1212-8084）

★7月11日（土）14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●理事三宅が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は sukukaikanagawa@hotmail.com

★10月12日(月)13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター 情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は sukukaikanagawa@hotmail.com

[調査会NEWS 778] (21. 5. 20)

■定例記者会見の中継

前のニュースではお知らせしていませんでしたが、来週月曜の調査会定例記者会見はいつもと同様(株)NetLiveのご厚意によりインターネットでの生中継を行います。一般の方でも金正日でも、どなたでも無料でごらんになれます。

日時 5月25日(月) 13:00~

NetLiveのホームページは <http://www.netlive.ne.jp/> です。今回の記者会見以外にこれまでの記者会見、戦略情報研究所主催講演会なども見ることができます。それ以外にも非常にバラエティーに富んだサイトですのでぜひご覧ください。

■第18富士山丸事件と小泉訪朝

荒木和博

先日第18富士山丸事件と金丸・田辺訪朝団についてちょっと調べていて気づいたことがあります。

事件については書くと長くなるので省略しますが、抑留された第18富士山丸の紅粉勇船長・栗浦好雄機関長は平成2(1990)の金丸・田辺訪朝団が連れて帰ってきました。しかし、二人には嚴重な箝口令が引かれ、北朝鮮でのことについて語ることはできませんでした。

金丸・田辺訪朝団と二人の釈放の流れを見なおしてみてもなるほど、と思ったのは、二人の釈放問題はそれなりに世間の関心を呼んでいたものの、訪朝団の主題ではなく、逆に、訪朝団を出すための理由付けであったということです。この問題がなければ金丸・田辺訪朝団にはもっと風当たりが強かったでしょう。帰国してから二人が話せなかったのはそのためで、とりあえず帰ってこれれば、あとは日朝交渉に障害となるような発言はできないようにされたのでした。

これを小泉訪朝にあてはめると、なるほど、と思える点がいくつも出てきます。

小泉訪朝の最大の目的は拉致問題解決ではなく、日朝国交正常化でした。それは平壤宣言に経済援助などについては非常に細かく書いてあるのに、拉致問題については「日本国民の生命と安全にかかわる懸案問題」とぼかして書いてあるだけということでも明らかです。

それどころではなく、金丸・田辺代表団のとき第18富士山丸事件がその理由付けで使われたのと同様、第一次小泉訪朝では拉致問題がその理由付けで使われたということです。

確かに拉致問題を無視して日朝国交正常化に進むことは不可能ですが、拉致問題を話し合うということで訪朝すれば批判をかわすどころか、賞賛の対照ともなり得ます。そして、国交正常化交渉が動き出せば、あとは拉致問題はどうしてもよく(もちろん、帰ってくればそれに越したことはないという程度の思いはあったでしょうが)、逆にマイナスになる要因、つまり拉致問題での世論の高まりは除去する必要があったということです。

したがって金丸・田辺訪朝団が紅粉船長、栗浦機関長の口をふさいだように、小泉政権も拉致問題がこれ以上大きくなることを止める必要がありました。そう考えると、9月17日の「飯倉公館事件」にしても、翌々年（平成16年）3月の山本美保さんにかかわる「DNAデータ偽造疑惑事件」にしても十分に理解ができます。

北朝鮮に拉致を認めさせ、とりあえず5人を取り返したという意味で私は小泉訪朝を評価をするものですが、それが結果論であって、本質的にはこのような考えのもとに動いていたということはしっかりと理解しておく必要があるでしょう。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★6月28日（日）14:00「定期総会記念講演会」（日本会議神奈川・相模原支部主催）

●杜のホールはしもと（横浜線・京王相模原線橋本駅前 Tel 042-775-3811）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：奈良支部長（042-757-2002）

★7月5日（日）13:00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）

●ロックシティ守谷・センターコート（筑波エクスプレス・関東鉄道守谷駅下車徒歩7分）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会いばらき（090-1212-8084）

★7月11日（土）14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」

（拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●理事三宅が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は sukukaikanagawa@hotmail.com

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター 情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は sukukaikanagawa@hotmail.com

[調査会NEWS 777] (21.5.18)

■定例記者会見のお知らせ

報道関係各位

いつもお世話になります。今月の調査会定例記者会見は次の日程で行います。何卒よろしくお願い申し上げます。

日時 5月25日（月）13：00～（いつもと開始時間が異なります。ご注意ください）

場所 調査会事務所3階（文京区後楽2-3-8）

内容 県別の関連失踪者リストについて（前からたびたび「うちの県の関連失踪者は何人ですか」という質問を受けているため、今回整理しています。各都道府県について、その県で失踪した人、その県に住んでいて失踪した人、その県にご家族が住んでいる人などについての表です）

その他

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★6月28日（日）14:00「定期総会記念講演会」（日本会議神奈川・相模原支部主催）

●杜のホールはしもと（横浜線・京王相模原線橋本駅前 Tel 042-775-3811）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：奈良支部長（042-757-2002）

★7月5日（日）13：00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）

●ロックシティ守谷・センターコート（0297-47-0609）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会いばらき（029-224-7521）

★7月11日（土）14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●理事三宅が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は sukukaikanagawa@hotmail.com

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター 情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は sukukaikanagawa@hotmail.com

[調査会NEWS 776] (21.5.13)

■蓮池透さんの発言について

荒木

和博

このところ、色々な集会での蓮池透さんの発言が伝えられています。

もちろん、自分の意見を述べるのが自由なことは言うまでもありませんから、それ自体を批判するつもりはありません。むしろご自分の意見を明確に打ち出してくれるようになったことで、議論の土台ができることは望ましいと思います。

その前提で、透さんの言っている「制裁には効果がない」「日本は過去の清算をしていない」という発言には敢えて反論しておきたいのですが、この二つは北朝鮮側から度々流されていることです。もはや風前の灯とも言える朝鮮総聯が、力を振り絞って制裁解除、特に船の入港禁止解除を求めていることが、いかに制裁が効いているかの証拠だと思えます。

私は経済制裁、特に船舶入港禁止はいわゆる経済制裁とは別に、安全保障上の意味、北朝鮮の工作活動を抑制する効果があると思っており、北朝鮮が困っているのはかなりの部分それなのではないかと考えています。

どのような意図で透さんがこのような主張をしているのか、あるいは薫さんと同じ意見なのかは分かりませんが、もし日本政府に対して、あるいは世論に対してこのようなことを訴えるなら、多くの国民が疑問に感じている「なぜ帰国した5人は話さないのか」ということに答える必要もあるのではないのでしょうか。別に語れないことは語れなくていいので、一般の人々の前で5人が答えられる範囲の質問に答えてくれれば、透さんの主張に対する見方も（私も含めて）変わるのではないかと思うのですが。

■参考情報・戦略情報研究所講演会

次回の戦略情報研究所講演会は下記の通り開催されます。ふるってご参加下さい。

1、日程：5月15日(金)18:30~20:30

2、場所：U I ゼンセン会館2階会議室（千代田区九段南4-8-16 tel03-3288-3549）

※市ヶ谷駅下車3分 靖国通りを靖国神社方向に歩いてすぐ右に入る。日本棋院斜向い

<http://www.mapion.co.jp/c/f?uc=1&grp=all&nl=35/41/14.758&el=139/44/23.929&scl=5000&bid=Mlink>

3、講師：喜田邦彦氏（安全保障・危機管理学会主任研究官）

昭和18年生まれ。防衛大学校第10期卒。第1空挺団、陸幕研究課・訓練課、第2師団第3部長、第4普通科連隊長、防衛研究所戦史部主任研究官などを歴任し、平成11年に1等陸佐で退官。第二次世界大戦前における欧米諸国の危機管理などをテーマに研究。

4、テーマ「『専守防衛』…フランスの敗北と日本の呪縛」

第2次世界大戦においてドイツに緒戦なすすべなく敗れたフランス、その最大の原因は「専守防衛」にありました。テポドン騒ぎに揺れる日本との比

較も含め、どうすれば私たちが自らの安全を守ることができるのかについて
お話しいただきます。

5、参加費 2000円（戦略情報研究所会員は無料）。

6、参加申し込み 事前のお申し込みは不用です。そのまま会場においで下
さい。

7、インターネット中継 地方在住の方等でご覧になれない方は(株)
NetLiveのご厚意によりインターネットでの生中継を行います（18:30～
19:30頃まで）のでそちらをご覧下さい。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベ
ントのみ）

★5月15日（金）13:00「拉致問題講演会」（倉吉高等技術専門校・鳥取県
主催）

- 倉吉高等技術専門校（倉吉市福庭町2-1 Tel 0858-26-2247）
- 常務理事妹原が参加
- 問い合わせ：県総務部人権局人権推進課（0857-26-7590）ないし上記倉吉
高等技術専門校

★5月16日（土）14:00「中村三奈子さんを探す会集会」（同会主催）

- 川崎コミュニティセンター（長岡市川崎6-2407-5 Tel 0258-35-3935）
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：中村三奈子さんを探す会（090-4279-4724）

★6月28日（日）14:00「定期総会記念講演会」（日本会議神奈川・相模原
支部主催）

- 杜のホールはしもと（横浜線・京王相模原線橋本駅前 Tel
042-775-3811）
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：奈良支部長（042-757-2002）

★7月5日（日）13:00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）

- ロックシティ守谷・センターコート（0297-47-0609）
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：救う会いばらき（029-224-7521）

★7月11日（土）14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」
（拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会
主催）

- 藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）
- 理事三宅が参加
- 問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は
sukukaikanagawa@hotmail.com

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川
県民集会」（救う会神奈川主催）

- 横浜情報文化センター 情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情
文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川
sukukaikanagawa@hotmail.com

090(9816)2187又は

[調査会NEWS 775] (21. 5. 10)

■アジア人権人道学会設立

昨日9日、東京千代田区の明治大学で「アジア人権人道学会」が設立されました。

報告会に先立って13時から行われた総会では川島高峰・明治大学准教授が会長に選任され、規約及び今後の活動の骨子が決定しました。

引き続き14時から行われた総会では次の方々及び調査会代表荒木が報告を行いました。

黒坂真 大阪経済大教授

川人博 北朝鮮による拉致・人権問題に取り組む法律家の会幹事

土井香苗 ヒューマン・ライツ・ウォッチ東京ディレクター

海老原智治 パヤップ大学タイ日センター・コーディネーター

マリップ・セン・ブ (ビルマ)

今後その内容は逐次報告がされる予定です。下記の「アジア人権人道学会設立準備室ブログ」をチェックしていただければ幸いです。

<http://d.hatena.ne.jp/asiaajj/>

■拉致問題の現在

荒木和博

(以下はアジア人権人道学会で私の発表したレジメに若干の肉付けをしたものです)

1、拉致問題の二つの側面

拉致問題には(1) 国家主権の侵害、(2) 人権侵害、という二つの側面があります。ここで発表するのは(2)についてです。

2、人権侵害の側面からみた拉致

(1) 北朝鮮当局・日本国内の工作人員及び協力者による拉致被害者に対する人権侵害

これは通常言われていることですが、今回は別の視点から人権侵害としての拉致を見てみたいと思います。

(2) 日本国政府による拉致被害者及び家族に対する人権侵害

その一つは政府が拉致を放置し、隠蔽することによる人権侵害です。

a) 不作為による人権侵害

「努力していますが、結果が得られません」ということは責任を問われるべきではないのか。国民の基本的な人権が侵されているのですから、救出できないことについても政府は責任を負うべきだと思います。発表の場では言いませんでしたが、岡田和典・調査会常務理事の言葉を借りれば「ヤルヤル詐欺」にあたるのではないのでしょうか。

b) 意図的な隠蔽による人権侵害

(例) 飯倉公館事件(註1)・DNAデータ偽造疑惑事件(註2)

これは不作為よりさらに始末の悪い問題です。例に挙げた二つの事件(後に概略を解説)については現在見直しをしているのですが、金丸訪朝のとき、第18富士山丸の船長・機関長解放が一つの重要なテーマでした。これはあらためて見直すと、二人を取り戻すために北朝鮮と交渉したのではなく、北朝鮮と交渉するためのネタとして二人のこゝろを使ったのではないかと思われれます。同様小泉訪朝でも拉致は、それを解決するために行ったというより、日朝国交正常化をするために拉致問題を利用したのではないかとも考えられます。いうまでもなくこれらは政府による明確な人権侵害です。

(3) 国民による拉致被害者及び家族に対する人権侵害

しかし、問題は政府にのみ押しつけられるものではありません。民主主義制度の中、政府は私たちが構成しているのですから、拉致問題が解決できないことについて、もちろん私も含めて、国民皆が不作為の人権侵害を犯しているとは言えないでしょうか。特に「まだよく分からないから何もしない」ということは果たしてどこまで許されるべきか。そうしているうちに収容所の中では人々が死んでいきます。その中には帰国者も、拉致被害者もいるかも知れません。「知らない」ということに何らかの責任が課される必要もあるのではないかと思います。

3、拉致問題に関しアジア人権人道学会に期待する今後の課題

(1) 救出運動スタート、家族会結成からすでに12年余。時間の経過によって記録が散逸しつつあり、あらためてこの間(そしてそれ以前から)拉致問題について何が起こってきたのか、記録を残しておく必要性があります。

(2) 多数の被害者がいると思われる在日朝鮮人拉致についての検証がなされていません。これも進めていかなければなりません。

(3) 終戦時に北朝鮮に残った内地出身者(日系朝鮮人)の存在に関する検証もほとんど手つかずです。平壤だけで1000人位残ったと言われる人たちがどう処遇されたのか、拉致問題ともからめて考えていく必要があると思います。

(4) 拉致問題の全体像に関する検証は、(1)とも関わりますが、まだ十分になされていません。個別の人権問題についての研究とともに、政治、外交の面を加味して全体像を見定めていく努力が必要であると思います。

(註1)平成14(2002)年9月17日の第一次小泉訪朝時、政府が北朝鮮側から伝えられた情報の中で、未確認の死亡・生存の情報を確定情報として伝え、一方北朝鮮から伝えられていた「死亡」日付等をあえて知らせないことなどの情報操作によって拉致問題の終結を図ろうとした事件。(参考:荒木著『拉致 異常な国家の本質』勉誠出版)

(註2)昭和59(1984)年6月4日に山梨県甲府市で失踪した特定失踪者山本美保について、平成16(2004)年3月5日山梨県警が、失踪17日後に山形県遊佐町の海岸に漂着した身元不明遺体の骨髄と双子の妹の血液をDNA鑑定した結果一致し、従って遊佐町の遺体は山本美保であると発表した。しかし、後の調査で山本美保と遺体は体格、着衣、遺留品がことごとく相違し、なおかつ遺体の状況も失踪17日後とは考えられない状態であることが分かった。遺体が山本美保でないことは明白であり、それはDNA鑑定の書類が偽造されたものであることを意味する。当然このような措置が県警の判断でできるはずはなく、飯倉公館事件同様政権中枢による拉致問題終結のための情報操作であった疑いが持たれている。(参考:同上書)

■調査会役員の参加する講演会等の予定(一般公開の拉致問題に関するイベントのみ)

★5月15日(金)13:00「拉致問題講演会」(倉吉高等技術専門校・鳥取県主催)

●倉吉高等技術専門校(倉吉市福庭町2-1 Tel 0858-26-2247)

●常務理事妹原が参加

●問い合わせ:県総務部人権局人権推進課(0857-26-7590)ないし上記倉吉高等技術専門校

★5月16日(土)14:00「中村三奈子さんを探す会集会」(同会主催)

●川崎コミュニティセンター(長岡市川崎6-2407-5 Tel 0258-35-3935)

●代表荒木が参加

●問い合わせ:中村三奈子さんを探す会(090-4279-4724)

★6月28日(日)14:00「定期総会記念講演会」(日本会議神奈川・相模原支部主催)

●杜のホールはしもと(横浜線・京王相模原線橋本駅前 Tel 042-775-3811)

●代表荒木が参加

●問い合わせ:奈良支部長(042-757-2002)

★7月5日(日)13:00「救う会いばらき守谷集会」(同会主催)

●ロックシティ守谷・センターコート(0297-47-0609)

●代表荒木が参加

●問い合わせ:救う会いばらき(029-224-7521)

★10月12日(月)13時~「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」(救う会神奈川主催)

●横浜情報文化センター 情文ホール(みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分)

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ:救う会神奈川 090(9816)2187又は

sukukaikanagawa@hotmail.com

[調査会NEWS 774] (21. 5. 1)

■メーデーのご報告

4月29日に東京・代々木公園で開催された連合主催のメーデーに特定失踪者問題調査会として出店しました。この模様は戦略情報研究所のホームページにある「しおかぜだより」に報じられています。

<http://senryaku-jouhou.jp/tayori.html>

ご協力いただいたUIゼンセン同盟ヤングリーブスの皆さん、ブースを訪ねて下さった皆さん、ありがとうございます。当日はカンパ8,536円、グッズ売り上げ37,000円あわせて45,536円になりました。ご支援に心より御礼申しあげます。

■「良い政府」「悪い政府」「どうでもいい政府」

荒木和博

そのメーデーの最中、ふとタイトルのようなことが頭に浮かびました。もともと真鍋副代表が「政府にも『良い政府』と『悪い政府』がある。もっと『良い政府』が動きやすいようにしないと」と言ったことにヒントを得たものですが、「良い政府」も「悪い政府」も一部で、大部分は「どうでもいい政府」なのではないでしょうか。もちろん、そんな名前の政府があるわけではなく、政府の中は良い人も悪い人も一部、あとはどうでもいい、まあ仕事は増やしてほしくないという人だということです。

「悪い政府」ならやっつけければ良いわけですが、「どうでもいい政府」というのは本人たちが悪いことをしているという自覚もなく、かといって「何とかしたい」という意識を持っているわけでもないの、ある意味一番始末に困ります。

もっとも、こんな状態は昔からあまり変わっていないのしょうから、それを前提にやるしかありません。上が明確な指示を降ろせばお役所は動くわけで、その決断を政治がするかどうかだろーと思ひます。その政治を動かすのは世論です。

私たちの政府とのスタンスは常に「建設的緊張関係」を基本にしていますが、その中では様々な政府関係者の皆さんと連携し、協力もし、私たちに対しても協力してもらっています。別に反政府運動でやっているわけではないので、これは当然のことだと思ひます。一方で、拉致問題が解決しない理由の大きなものは何十年も積もり積もってきた政府による隠蔽であり、その部分はどうしても打破していかなければなりません。これからもっと厳しく闘わなければならない局面も出てくることは間違いありませんが、「良い政府」の皆さん、共にがんばりましょう。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★5月6日（水）14:00「拉致被害者の早期救出を求める国民大集会」（家族会・救う会・拉致議連主催）

●日比谷公会堂（千代田区日比谷公園1-3 Tel 03-3591-6368 地下鉄霞が駅B2・C4 出口、内幸町駅A7 出口、日比谷駅徒歩3分）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会全国協議会（03-3946-5780）

★5月15日（金）13:00「拉致問題講演会」（倉吉高等技術専門校・鳥取県主催）

●倉吉高等技術専門校（倉吉市福庭町2-1 Tel 0858-26-2247 ）

●常務理事妹原が参加

●問い合わせ：県総務部人権局人権推進課（0857-26-7590）ないし上記倉吉高等技術専門校

★5月16日（土）14:00「中村三奈子さんを探す会集会」（同会主催）

●川崎コミュニティセンター（長岡市川崎6-2407-5 Tel 0258-35-3935）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：中村三奈子さんを探す会（090-4279-4724）

★7月5日（日）13:00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）

●ロックシティ守谷・センターコート（0297-47-0609）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会いばらき（029-224-7521）